

設立の趣旨を語る土井ゆき子代表＝名古屋市中村区のJICA中部で



(お3種郵便物認可)

# 「フェアトレード」普及へ

途上国の生産品を適正価格で購入、支援する国際連動。生産者に農薬や化学肥料に頼らない製品を作ってもらうことで、環境保護にもつなげる。

「名古屋フェアトレード・タウンにしよう会」「フェアトレードタウンなご」や推進委員会、「中部フェアトレード振興協会」「認定NPO アジア日本相互交流センター」が共同で設立。この日、同市中村区の国際協力機構(JICA)中部で設立総会を開き、関係者ら七十人が出席し、普及活動をさらに強めていくことを確認した。

フェアトレードは、不当に安く買いたたかれやすい途上国の生産品を適正価格で購入、支援する国際連

## 名古屋 来秋の国際会議に合わせタウン認証目標

動。生産者に農薬や化学肥料に頼らない製品を作ってもらうことで、環境保護にもつなげる。

ネットワークの大きな目標の一つが、国際機関の認証を得て名古屋フェアトレードタウンにすること。世界では千五百五十余りの自治体に広がっているが、要件は厳しく、国内では熊本市だけ。名古屋の場合、認定商品を扱う店が市内に三百店以上あることが必要で、取り組みを推進する市議会の決議も要る。

名古屋市では来年十一月、国連の「持続可能な開発のための教育(E.S.D)」の国際会議が開かれる。ネット代表の土井ゆき子さん(左)は「世界に名古屋の取り組みをアピールする最高のチャンス」と語り、タウン認証を間に合わせたい考え。「子育てやまちづくりなど幅広い団体とも連携し、運動を盛り上げていきたい」と意気込んでいる。

## 市民団体がネットワーク

途上国の生産品を公平な価格で購入して支援する「フェアトレード」の普及に連携して取り組む「フェアトレード名古屋ネットワーク」が十一日、発足した。来年秋に名古屋で持続可能な社会を目指す国際会議が開かれるのに合わせ、名古屋を「フェアトレードタウン」にするのが目標だ。(多園尚樹)